

テレワークの種類	在宅勤務	モバイルワーク	サテライトオフィス	狙い	生産性向上	移動時間短縮	非常時の事業継続	顧客満足度向上	WLB向上	オフィス費用削減	通勤弱者対応	創造性向上	優秀な人材確保	省エネ・CO2対策
	○				○	○	○		○				○	○

企業の概要

社名	株式会社ノベルワークス	都道府県	大阪府
業種	ITシステム開発	従業員数	3
事業概要	ITシステムの企画、設計、デザイン制作及び開発		

テレワーク実施概要

雇用上の規定	就業規則に規定
テレワーク担当部署	クラウドソリューション事業部
テレワーク対象者	全社員
実施者数	2名
実施日数	概ね週2～3回

テレワークの導入・拡大の経緯

そもそも当社の社名「Novel Works」とは、Novel＝斬新な、Works＝仕事、働き方という意味で、私たちが目指す組織の姿を現している。育児休暇や女性活躍推進等に取り組んでいる企業は多いが、現実問題として、育児や介護で日中帯にフルタイムで働くことを諦めざる有能な人材が多数いることを痛感した。その結果、当社の取り組みとして時間を成果とせず、結果を成果とする。そして結果を成果とすることで得る「時間」を有効活用する（時間を自己研鑽の機会とする）ことを第一の目標に掲げ、すべてのスタッフがテレワークを実践している。

テレワークの概要・特徴

スタッフは離れた場所で様々な時間帯に業務を行う。場所が離れていることから、コミュニケーションロスの発生頻度も多くなるため、当社ではkintone、slack、zoom等のツールを活用し、同じロケーションで活躍する人たちと同等以上の結果（成果）を出すように取り組んだ。その結果、一般管理費の削減や生産性向上といった付帯価値を生み出すことができた。

具体的には、

- ・クラウド型グループウェアの導入

- ・ビデオチャット

- ・クラウドストレージ（共有サーバー）

- ・モバイル端末（ノート・タブレットなど）

を利用し、オフィスにおらずともリアルタイムに情報連携やコミュニケーションが可能なシステムを構築している。

また、これにより業務効率を高めることで、週休3日制に向けた時短勤務にも取り組んでいる。

その他ICTの利活用として、日本国のみならず、海外との業務提携にも取り組んでいる。

テレワーク導入の効果（経営にもたらした効果、その他効果）

テレワークを特別なものとせず、当たり前のもので捉えていた当社では、優秀でありながら働く場所に縛られ退職せざるを得なかった人材や、本来の能力を十分に発揮できない職場（業務）に携わっていた人材が自然と集まっている。

- ・バックオフィスのスペシャリスト

- ・Web技術において類まれなる技術とセンスを併せ持つ者

- ・未経験でありながら慣習に捕らわれず新しい技術を着々と吸収する者

- ・即戦力となりうる学生インターン生など

結果、人材不足が叫ばれる昨今において、当社では採用に躍起になったことがない。

また、有能な人材が集まるがゆえに、多様なビジネス展開が可能となり、立ち上げから3期目にして最新のテクノロジー（AIやIoT）を駆使したプロダクトのリリースを間近に控えている。

つまりテレワーク導入の最大のメリットは、上記のような人材が、セルフコントロール・セルフマネジメントしながら仕事をすることで、管理工数が削減できプロダクトの成長スピードが速い、という点である。

社会に眠った宝物と巡り合えない中小企業こそ、古き慣習から脱却し日本の秘めたる力を率先して採用し、開放して欲しいと願っている。